



安心とつながりを、この場所から。

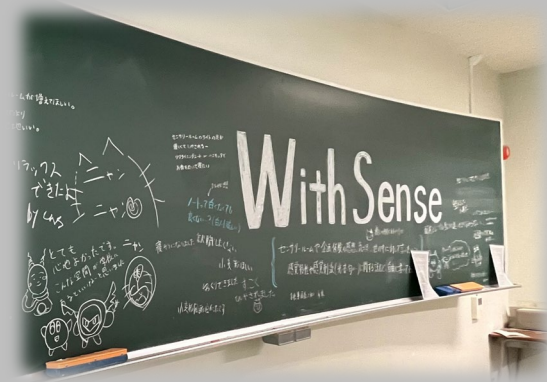


Sensory Book Lounge



私たちの団体について

団体について



<金沢大学学生団体 With Sense>

- 設立：2024年7月
- メンバー：金沢大学の学生7人(2025年6月時点)
- 活動キーワード：「感覚の多様性」
- 活動ビジョン・パーパス：

全ての人の感覚が尊重され、どんな感覚特性を持っていても安心して過ごせる大学・社会をつくる

現状・問題意識①

感覚＝グラデーション

感覚・刺激処理のメカニズム
⇒ **全ての感覚には個人差・多様性がある**
ことが分かっている

多様な感覚特性(例)

- **感覚過敏**: 諸感覚が過敏になる
- **感覚鈍麻**: 諸感覚を感じにくい

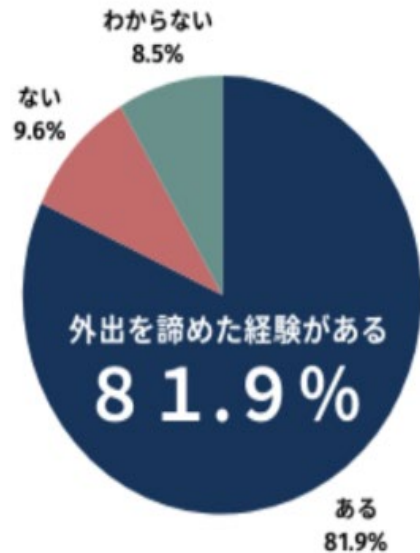
現代社会は「一般的」とされる感覚に合わせてつくられている
感覚の多様性の認知度は低く、理解もされづらい

多くの人と少し異なる感覚特性を持つ人の存在は見過ごされやすく
日常生活で様々な困りごとを抱えやすい状態にある

現状・問題意識②

外出への不安を抱える感覚過敏当事者

外出の不安



- 疲れやすい、寝込んでしまう・・・282名 (82.2%)
- 頭痛やめまいなどが起きる・・・184名 (53.6%)
- 吐き気や気持ち悪くなる・・・171名 (49.7%)
- 休憩場所や避難場所を見つけられるか不安
・・・158名 (45.9%)
- 同行者に迷惑をかけないか心配・・・156名 (45.3%)
- パニックを起こしてしまう・・・119名 (33.6%)
- 周囲の目が不安・・・119名 (33.6%)

感覚過敏研究所：感覚過敏当事者・保護者を対象にした
外出に関するアンケートによる実態より

感覚過敏研究所調査（回答者数：343名）

- 多くの当事者が、外出に際して
様々な不安・困難を抱えている
- 感覚過敏を理由に外出を諦めた
経験のある回答者→**80%以上!**

(回答者数:343名/実施者:感覚過敏研究所/実施期間:2023年10~11月)



現代社会≠感覚にやさしい社会
様々な機会へのアクセシビリティを
保障するために、環境・サービスの
整備が必要

団体活動内容

① 感覚の多様性に関する啓発・発信

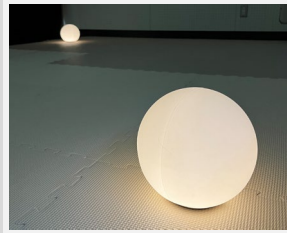


■学内イベントの開催

■大学授業へのゲスト協力

→感覚の多様性について知る人を増やす

② センサリールーム クワイエットアワー



■学祭・図書館などで展開

■学内教職員との協働プロジェクトの実施

→安心して過ごせる物理的居場所をつくる

③ 感覚にやさしい コミュニティづくり

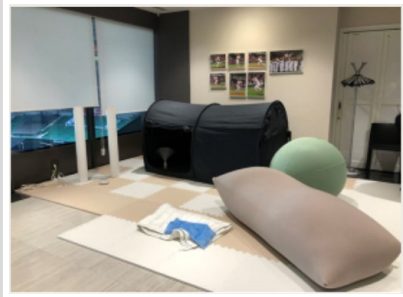


■交流会の開催、他団体とのコラボ企画

■①②を通じた関係人口の創出

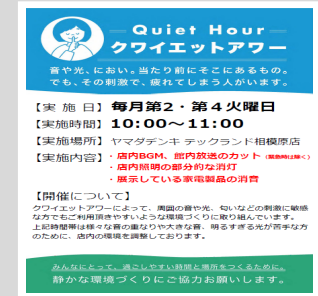
→孤独感を和らげる心理的居場所をつくる

用語解説



センサリールーム/カームダウンスペース : 五感に配慮し、感覚刺激を抑えた空間

- 感覚刺激で疲れやすい人などが、気持ちや体調を落ち着かせたり安心して休んだりすることができる
- サッカースタジアム、万博会場などで導入中



クワイエットアワー : 施設内の感覚刺激を抑えた時間帯

- 感覚刺激で疲れやすい人などが、安心して来店・滞在することができる
- 家電量販店、スーパーマーケット、ドラッグストアなどで導入中

実施する事業について

事業企画概要

◎感覚にやさしい読書空間を広めるプロジェクト:**Sensory Book Lounge**
=センサリールーム・クワイエットアワー×本×まち

①

感覚にやさしい空間

感覚刺激を抑え、安心して滞在できる空間・時間を提供

②

感覚の多様性関連書籍

多様な感覚特性について気軽に学ぶことができる本を提供

できること

読書・作業

カームダウン

対話・交流

お茶・休憩

利用シーン

1人で

家族と

友人・知人と

コミュニティで

事業実施計画①

①定期的なSensory Book Loungeの実施

- 新しい価値や顧客を求めており、当プロジェクトに共感する民間図書館・ブックカフェ・コミュニティカフェなどを、月1回(以上)・営業時間の一部を使って、「Sensory Book Lounge」として開放

参加店舗での対応

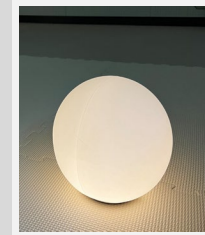
- 間引き照明にする
- BGMを変更する/
音量を下げる など

都度貸出



さらなる場づくりのために

- センサーアイテム(感覚にやさしく働きかけるグッズ)
- 感覚の多様性関連書籍



→誰もが安心して滞在・交流できる居場所の選択肢をまちに増やす

事業実施計画②

②感覚の多様性について学べるイベントの開催

- 内容：感覚の多様性ミニ講座・感覚過敏の追体験・ディスカッション
センサリーアイテム展示・センサリートイ制作体験 など
- 場所：金沢市内
- 対象者：金沢市民（感覚特性不問）
- 日時・イベント規模：連携先の参加店舗と相談
(9～10月に1回、11月～1月に1回実施予定)

→感覚の多様性の認知度・理解度向上を目指す

イメージ) 過去約1年間のWith Sense実施イベント ▶



事業予算

科目	予算	内訳
印刷費	12000円	企画・イベント宣伝用A3ポスター・A4チラシ印刷費
会場使用料	6000円	Community & Library コトノハ:550円/1回など
材料費	70000円	センサリーアイテム(シリコン製丸ライト・クッション・イヤーマフなど)購入費 センサリートイ(センサリーボトル・小麦粉風船など)製作費
消耗品費	12000円	資料・事務用品など購入費
【合計】	100000円	

今後の展望について

今後の展望

◎With Sense3つの活動+Sensory Book Lounge事業による効果



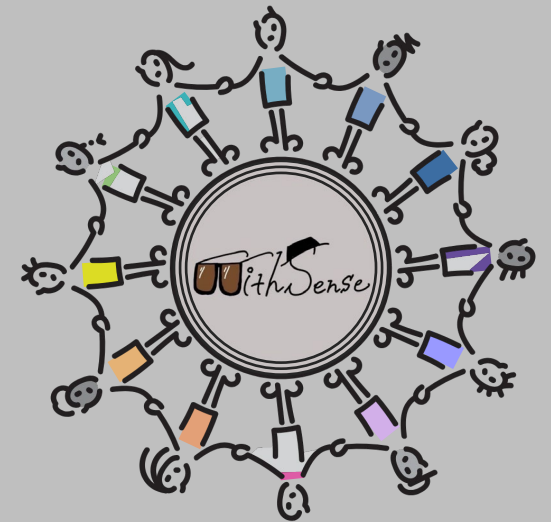
- ①まちのセンサーアクセシビリティが高まる
- ②市民が感覚の多様性について学べる場や、感覚特性に関わらず安心して過ごせる物理的・心理的居場所ができる



まちの魅力・社会的価値向上につながる

感覚にやさしい社会の土壌が形成される

この事業を全国へ！
みんなにやさしい
社会を当たり前！



ご清聴ありがとうございました

